

SCOUTING

2021
No.743
5

特集

2021年度事業計画

第48回全国ボーイスカウト写真コンテスト

写真：第48回全国ボーイスカウト写真コンテストより

CONTENTS

02 2021(令和3)年度 事業計画

06 受け継がれるスカウトスピリット
—歴代総裁と総長にまなぶ—

10 2021(令和3)年度全国大会

11 2019年度・2020年度合同
富士スカウト顕彰

12 第48回全国ボーイスカウト写真コンテスト
入賞作品発表!!

14 企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ
カブスカウト対象“新チャレンジ章”

15 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2021

15 信仰奨励

16 野外活動のための安心・安全講座
そなえよつねに共済 事故データ分析

18 スカウティングとSDGs
—一緒に行動しよう! 持続可能な社会のために—

19 全国防災キャラバン

19 国際デー ～世界と共に考えよう～

20 ローカルホットライン

21 新刊書籍紹介

21 維持会員

22 日本連盟理事等の交代について(お知らせ)

23 スカウトショップ

2021(令和3)年度 事業計画

日本連盟創立100周年まであと1年。2020年度は4つの重点施策を中心に、100周年記念事業等の準備や第10回 APR サミット、第42回世界スカウト会議等の国際行事への参加、などの重点事業に取り組みます。来る100周年に向けて、継続して「活動的で自立したスカウト」の育成に取り組んでいきましょう。

■ 2021年度事業計画について

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大で、日本のみならず、世界中が非常に大きな影響を受けました。我々のスカウト運動も多くの活動が中止あるいは延期になりましたが、新たにオンラインを活用した活動や集会、会議が開かれました。また、文部科学省の委託事業として「ボーイスカウトとあそぼう! ワクワク自然体験あそび」事業を受託し、全国で1万人を超える青少年(スカウト以外)が参加しました。

2022年に迎える日本連盟創立100周年まで、いよいよあと1年になりました。ご存じのとおり、私たちは100周年を目指してスカウト運動を再興させ、加盟登録人口を増加させるためにさまざまな施策に取り組んでいます。

2016年度に策定した「100周年を目指した長中期計画」、2018年から最優先で取り組んでいる「財政再建および組織改革に関する基本方針」等の成果を確認し、総括する年となりました。

今年度からは、創立100周年以降の「日本連盟のあるべき姿」を検討し、新たな「長中期総合計画」の策定を開始します。検討にあたっては、これまでに達成できなかった課題を分析し、新たな取り組みが必要となります。

加盟員の皆さんには、100周年に向けた取り組み、そして100周年から先の取り組みをご理解いただき、全員が一体となって取り組むことにご協力をお願いいたします。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

理事長

水野正人

■ スローガン

「活動的で自立した スカウトを育てよう!!」

～日本連盟創立100周年を目指して～

2021(令和3)年度も、日本連盟創立100周年を目指した長中期計画として2016年に策定した「活動的で自立したスカウトを育てよう!!」をスローガンに、活動に取り組めます。

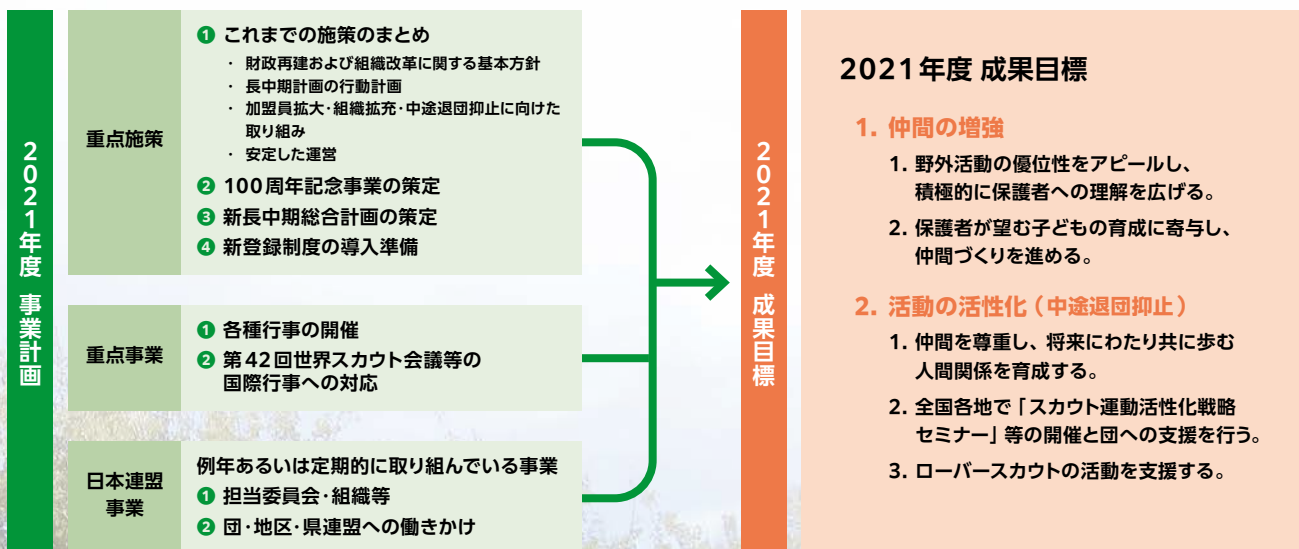
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による沈滞部分の回復と、スカウト運動の社会への貢献を念頭に事業を進めます。また、これまで取り組んできた長中期計画、財政再建および組織改革

に関する基本方針等の施策の総括を行うとともに、その成果を踏まえて創立100周年からの新長中期(戦略)計画の策定を行います。さらに、「富士特別野営2021」等の各種行事を実施するとともに、創立100周年を目指したさまざまな準備を進めます。

そして、日本のスカウト活動の活性化と加盟員拡大を最大の課題として、各種施策と事業を展開し、特に次の成果を目標とします。



■ 事業計画体系



重点施策と重点事業

事業を展開するにあたり、以下のとおり重点施策と重点事業を示します。事業の展開においては、国際目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に寄与できるよう、積極的に取り組んでいきます。

重点施策

1. これまでの施策のまとめ

1 財政再建および組織改革に関する基本方針

2018年1月の理事会で承認された7つの「基本方針」は多くの課題を達成していますが、残された課題を2021年度中に解決していきます。

- 1 財政強化に向け、助成金強化を織り込んだ「新・財政ビジョン」を策定する
- 2 事務局を新体制に移行するとともに、事業や業務の見直しによる予算の効率化を進める
- 3 ボイスカウトエンタープライズの経営の更なる健全化と、スカウト用品経営会議の下で収益を向上させる
- 4 高萩スカウトフィールドの活用改善に向け、特別委員会により具体化施策を策定する
- 5 理事会の各種会議体の役割を明確にし、迅速な経営執行を可能にする
- 6 日本連盟の経営情報の更なる透明化に向け、ホームページの刷新、情報の伝達方法の改善を図る

2 日本連盟創立100周年を目指した長中期計画の行動計画への取り組み

2022年度に迎える日本連盟創立100周年までに達成する長中期計画については、今年度で6年目を迎え、成果をまとめます。

- 1 コミッショナーの充実
- 2 質の高い活動のための方策(セルフ・プログラム・ハーム)
- 3 指導者養成
- 4 地域コミュニティづくり
- 5 プログラムの見直し

- 6 登録制度の見直し
- 7 スカウティングにおける成人の役割
- 8 情報伝達手段の刷新
- 9 組織体制の検討
- 10 国家資格認定制度へのチャレンジ
- 11 公益事業の取り組み
- 12 野外活動施設の確保

3 加盟員拡大・組織拡充・中途退団抑止に向けた取り組み



加盟員拡大と組織拡充に取り組み、スカウト活動を活性化するために、日本連盟のみならず、県連盟、地区、団との連携により、次の3項目を重点的に取り組みます。

- 1 加盟員獲得に向けた広報戦略の展開、スカウト活動のユニークさをアピール
- 2 団診断による団への支援と新団設立への取り組み
- 3 中途退団抑止のための支援

4 安定した運営

公益財団法人として安定した運営を進めるために、次の5項目への取り組みを推進します。

- 1 企業、他団体、行政との連携促進
- 2 維持会員増強
- 3 財政ビジョンへの取り組み
- 4 世界や地域との連携
- 5 オンライン会議等の活用促進

2. 100周年記念事業の準備

日本連盟創立100周年まで1年となる今年度は、さまざまな記念事業の計画と準備を進めます。

- 記念事業の準備
- 第18回日本スカウトジャンボリー (18NSJ) の準備



3. 新長中期総合計画(長期戦略計画)の策定

日本連盟創立100周年となる2022年度以降の長中期総合計画の策定を開始します。青少年プログラム、アダルト イン スカウティング、加盟員拡大、組織、財政、社会連携・広報、国際等、すべての分野を網羅した長期的な展望を策定します。

4. 新登録制度の導入準備

加盟員の金銭的負担を増やすことなく、スカウト運動を今後も維持、発展させるため、登録制度に関する抜本的な改革が必要と考えています。さまざまな方々とともに歩み、地域に根差したスカウティングを目指して、①スカウト運動の普及・発展のために多様な参加方式を確立し、②加盟登録料に依存した財政基盤を改善するために会員の種別と登録料の納入方法を見直します。同時に、2022年度の登録に向けて、新しい加盟登録コンピュータシステムの導入を目指します。

重点事業

1. 各種行事の開催

5月に全国大会（静岡県）、8月に富士特別野営2021およびCJKベンチャープロジェクト、1月に日韓スカウト交歓計画、3月に富士スカウト代表表敬等の行事を開催します（9月に予定していたRCJ ROUTEは、中止になりました）。



2. 第42回世界スカウト会議等の国際行事への対応

4月に第10回 APR サミット（オンライン開催）、8月に第42回世界スカウト会議（オンライン開催）、2月に第27回 APR スカウト会議（台湾で開催予定）に日本代表団を派遣するほか、国際行事への対応を進めます。



日本連盟事業

例年あるいは定期的に取り組んでいる事業を含み、2021年度もさまざまな事業を実施します。日本連盟だけではなく、団、地区、県連盟と連携して取り組んでいきます（下に、日本連盟が実施する公益事業の一例を紹介します）。

公1：ボーイスカウト運動の教育計画の策定および運営 ※一例

1	スカウト教育推進会議
2	全国県連盟コミッショナー会議および県連盟代表者会議
3	組織拡充モデル県連盟事業
4	ともに進もう助成
5	地球環境保全・保護および教育（スカウトの日など）
6	スカウト活動を活かした自然体験活動（ワクワク自然体験あそびなど）
7	第18回日本スカウトジャンボリー開催準備
8	富士特別野営2021
9	富士スカウト代表表敬・顕彰
10	共済事業（安全促進フォーラム、セーフ・フロム・ハーム推進フォーラムなど）

公2：ボーイスカウト運動の普及および広報 ※一例

1	組織拡充（顕彰）
2	全国ボーイスカウト写真コンテスト、ムービーコンテスト
3	中途退団抑止（スカウト運動活性化戦略セミナーなど）
4	PR 戦略展開（PR イベント出展など）
5	機関誌および出版物刊行
6	電子媒体の充実（インターネットなど）

公3：指導者の養成 ※一例

1	全国大会の開催
2	新指導者養成体制の充実（サポートツール、指導者養成関連タスクチームなど）
3	県連盟開設指導者訓練補助（ボーイスカウト講習会、各種研修所など）
4	指導者養成事業（各種実修所、各種トレーナーコース、ウッドクラフトコースなど）
5	トレーニングチームの充実（各種研究集会、日本連盟ディレクター会議など）

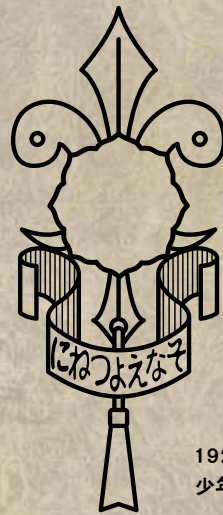
公4：国際相互理解の促進および国際協力 ※一例

1	ナショナルジャンボリー等派遣
2	日韓スカウト交歓計画
3	オーストラリア留学生受け入れ
4	CJK（台・日・韓）ベンチャープロジェクト日本開催
5	各種会議派遣（世界スカウト会議、APR サミット会議、APR スカウト会議など）
6	JOTA/JOTI への参加
7	世界スカウト機構、アジア太平洋地域との関係強化
8	第25回世界スカウトジャンボリー派遣準備

※誌面の都合により、タイトルだけの掲載や一部を要約しています。事業計画の詳細は日本連盟ホームページよりご確認ください。

受け継がれる スカウトスピリット

—歴代総裁と総長にまなぶ—



1922年
少年団日本連盟創立

2022年に創立100周年を迎えるボーイスカウト日本連盟。

この100周年という節目を機に、日本連盟は次の100年に向けて、改めてスタートを切ろうとしています。今号では、日本のボーイスカウト運動の発展に大きく貢献した歴代の総裁、総長が残した言葉やエピソードを振り返るとともに、新たに就任された総裁、総長、理事長をご紹介します。諸先輩方の言葉を通じて受け継がれてきたスカウトスピリットを胸に刻み、今後の活動や生活に活かしましょう。

妄想するよりは活動せよ。
疑惑するよりは活動せよ。
話説するよりは活動せよ。



初代総裁／初代総長
後藤新平 (1857-1929)

医師、官僚、政治家。南満州鉄道初代総裁、東京市第7代市長。伯爵。東京放送局(のちの日本放送協会)初代総裁。日本連盟の初代総裁であり、初代総長。ボーイスカウトを心から愛し、全国巡回講演会等を実施。その際、スカウトと直に懇談するなどし、日本におけるスカウト運動草創に尽力した。ロシア外交に赴く際、全国のスカウトからも米3粒ずつを集めて炊いた赤飯をご馳走になり、「自分もこの年になるまで数限りないご馳走や感謝を受けて来たが、今日程感動させられた事はない」と涙を流したというエピソードも残されている。

健康で、意欲的で、知識力と活動力の旺盛な若者たちが、身の危険を冒してそれにぶつかって行くのも、いふなれば一つの経験への憧れなのである。



第2代総裁
石坂泰三 (1886-1975)

財界人、経営者。逓信省を退官後、第一生命保険に入社。第一生命保険、東京芝浦電気(現・東芝)社長を経て会長に就任。第2代経済団体連合会(経団連)会長を6期12年務めた。晩年は経団連名誉会長、日本工業倶楽部理事長など数々の重責を引き受け、経済人、財界人として著名。経済開発協力機構(OECD)の民間産業経済諮問委員会(BIAC)日本委員長をはじめ、国際経済交流に尽力。ボーイスカウトでは、計3回の日本ジャンボリー開催と第13回世界ジャンボリーの招致、開催に尽力した。

何事も付け焼刃では モノにならない。



第3代総裁
植村甲午郎 (1894-1978)

昭和初期から後期の財界人、官僚。札幌オリンピック組織委員会会長。フジテレビジョン社長を経て会長、ニッポン放送社長を経て会長、財団法人日本科学技術振興財団会長、日本航空会長などを歴任。第3代総団連会長に就任すると、副会長を5人から7人に増員し、集団指導体制の下で調整力を発揮しながら、石油ショックや日米繊維交渉など内外の経済問題を対処。業界内および業界間の調整にその力を発揮した。1974年には土光敏夫に会長を引継ぎ、名誉会長となる。

失敗は終わりではない。
それを追求してゆくことによって、
はじめて失敗に価値が出てくる。



第4代総裁
土光敏夫 (1896-1988)

昭和時代のエンジニア、実業家。石川島重工業・石川島播磨重工業社長、東芝社長・会長を歴任。経団連第4代会長に就任し、「ミスター合理化」として土光臨調でも辣腕を振るった。また、橘学苑の理事長、校長の職を創設者である母から引き継いだ。大企業の経営者でありながらも質素な生活を送る姿（お手伝いさんを雇わず、朝食にメザシを食べる姿がTV取材で流れるなど）から「メザシの土光さん」として親しまれた。自身の多くの肩書を整理する際にもボーイスカウト総裁職は継続し、日本の青少年教育に尽力した。



人柄や能力は、子供のころの体験が大事。
好奇心や冒険心を育てることが、
豊かな人間を作るのだ。



第5代総裁（代行）
井深大 (1908-1997)

電子技術者、実業家。ソニー創業者。教育活動に熱心に取り組む、幼児開発協会、ソニー教育振興財団を設立。次女に知的障がいがあり、障がい者が自立できる社会を経営者の立場から考えていたことがきっかけで、大分県に身体障がい者が働ける工場「ソニー・太陽」を建設。1985年にはボーイスカウト日本連盟理事長に就任した。

井深は「なぜ、どうして」という探求心から、時計もおもちゃも片っ端からバラバラに分解するような少年で、大人たちから「こわし屋大ちゃん」と呼ばれたらしい。大人になってもなお、その好奇心が衰えなかった。

ダグラス・マッカーサー元帥

(1880-1964)

第二次世界大戦後、日本に進駐した連合国軍最高司令官。



戦後、三島通陽と村山有が中心となってマッカーサー元帥あてにスカウト運動の活動再開を請願し、これが許可されたことによってボーイスカウト日本連盟の再建に至った。

在日中の1949（昭和24）年9月22日から帰国する1951（昭和26）年4月11日まで、日本連盟名誉総裁に就任していた。

2021年4月 新たに就任

第6代総裁
御手洗富士夫 (1935-)



経営者・実業家。第6代、第8代キヤノン社長を経て、同会長。第2代経団連会長を務め、現在は名誉会長。内閣府経済財政諮問会議議員。若者の人間力を高めるための国民会議議長。鉄道貨物協会会長。読売新聞グループ本社監査役。ラグビーワールドカップ2019組織委員会会長。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会名誉会長。第23回世界スカウトジャンボリー（2015年）において、支援組織である第23回世界スカウトジャンボリー日本委員会会長を務め、同大会を成功に導く。その後、日本連盟特別顧問に就任し、2021年4月より第6代総裁に就任。

※ 全国大会（5月29日／詳細はP.10参照）にて、御手洗総裁と奥島総長の推戴式を実施する予定です。

スカウトは真の平和の戦士である。
健児は健児の任務あり。
備えよ、常に……

すべからく朗らかに
猛進すべし。



第2代総長
齋藤 實 (1858-1936)

子爵、第30代内閣総理大臣。朝鮮総督や海軍大将などを歴任。先代総長の後藤新平とは竹馬の友であり、内閣総理大臣就任前より日本連盟相談役としてさまざまな場面で活躍。紹介した言葉は、昭和10年に少年団日本連盟が法人格を取得し、財団法人大日本少年団連盟としてスタートした時の「モットー」にもなった言葉である。就任からわずか8か月で「2・26事件」の犠牲となった。



第3代総長
竹下 勇 (1869-1949)

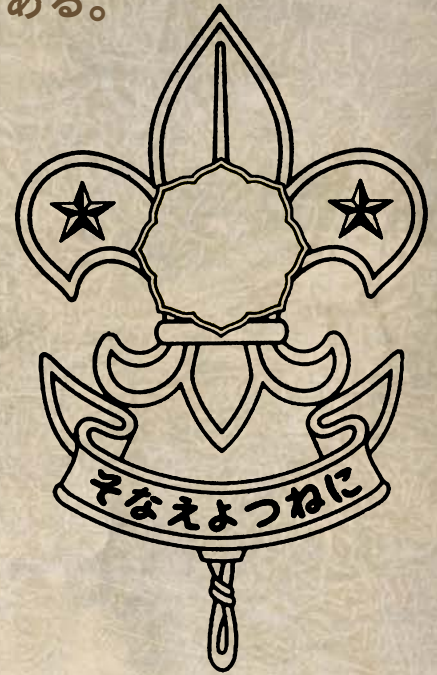
鹿児島県出身の軍人で、最終階級は海軍大将。語学堪能で、「海軍の外交官」と呼ばれるほどに海外勤務の多い軍人だった。また、語学だけでなく、柔道、剣道、武術なども好む人だった。少年団日本連盟発足のきっかけとなった1921年の「皇太子殿下(のちの昭和天皇)外遊」では、供奉諸員として随行している。日本連盟相談役に就任後、各地の指導者実修所や合同野営において、スカウトや指導者と起居を共にするなど、スカウト運動に対して熱意をもち、スカウト教育のよき理解者であった。

ボーイスカウトを行うなら、きちんとボーイスカウトを行う！
それは班制教育、進歩制度、そして技能章制度の実践であり、
真に国際的に誇れるボーイスカウトを育成することである。



第4代総長
三島通陽 (1897-1965)

小説家・劇作家・演劇評論家。子爵、貴族院議員。参議院議員、文部政務次官。少年時代からボーイスカウトに深い関心を寄せており、学習院院長であった乃木希典の薫陶を受けるとともに、近親者らの勧めで1920年に「弥栄ボーイスカウト隊」を結成。1921年、後藤新平のもとで少年団日本連盟の創設に参画した際、少年団日本連盟に加盟した少年団に対して述べたのが今回紹介した言葉。
戦後のボーイスカウト日本連盟再建にあたり、中心的な存在として力を尽くし、現在のボーイスカウト日本連盟の基礎を築いた人物である。



自分に与えられた数々の仕事に
ほんとうに心から奉仕しているだろうか、
いやいやながら引きずられているようなことがあったら、
それは Scout Promise「ちかい」にそむく。
いつもいつも心から打ちこまねば幸福は得られない。



第5代総長
久留島秀三郎 (1888-1970)

財界人、作家。鉱山技師で工学博士でもある。昭和鉱業株式会社社長、相談役、同和鉱業株式会社取締役社長、日本鉱業協会会長、日本幼児教育福祉協会会長などを歴任。そのほか、厚生省の人口問題審議会委員や中央児童福祉審議会委員長なども務めた。
1916年には京都少年義勇軍の少年たちとともに、日本のボーイスカウトによる初野営(キャンプ)を滋賀県の琵琶湖畔で行った。戦後、在日米軍に接収されていた土地の返還要求に「ノー」と強硬していた米軍に対し、久留島が直談判すると、スカウト出身者の司令官とスカウトの話題に花が咲き、劇的などんでん返しが起きた。

自然の暴威に笑って耐え、日頃の鍛錬を
身をもって実践し、困難を克服している。
この姿こそ、真のスカウティングの発露である。
(中略) スカウト諸君、元気でがんばれ！



第6代総長
松方三郎 (1899-1973)

登山家、ジャーナリスト、実業家。日本の登山界の草分けの一人で、キスリング・ザックを日本に持ち帰り紹介した人物でもある。南満州鉄道株式会社、社団法人新聞連合社などで勤務し、社団法人同盟通信社発足時には初代調査部長となる。その後は北京、香港、上海などに駐在。日本山岳会会長や東京国立博物館評議員、社団法人日本著作権協議会理事などを歴任。
1971年、第13回世界ジャンボリーで野営長を務める。今回紹介した言葉は、その会期中、台風に見舞われたスカウトたちに向けた激励の言葉である。

自分の心を動かすものが
今日の少年の心をも動かすものであるかどうか、
絶えず虚心に反省し探求して、新しい道を切り開き、
この運動の若さを失わせないようにすることが、
重要であると考えます。



第7代総長
渡邊 昭 (1901-2005)

伯爵。貴族院議員。昭和天皇の最後のご学友として知られている。文部省から委嘱され、ヨーロッパの社会教育状況の調査に従事し、イタリア、フランス、イギリス、ドイツを訪問。派遣団の帰国後もドイツに残り、主としてヒトラーユースの活動を調査した。帰国後は、大蔵大臣秘書官、企画院総裁秘書官などを歴任。学習院の先輩であった三島通陽、松方三郎らの勧めで26歳で「東京連合少年団」の理事に就任したのが、ボーイスカウトとの出会い。戦後、日本におけるボーイスカウト運動の再建に参画し、以降、国内外のボーイスカウト運動に尽力した。

頭を使う、考える、ということには
努力が要る。
額に汗する労働にも似たきびしさがある。
人はいろいろな言い訳を自分に設けて、
このハードワークから逃避しがちなもの。



第8代総長(代行)
佐波 正一 (1919-2012)

経営者。東京芝浦電気(現・東芝)に入社後、取締役、副社長等を経て、生え抜き初の社長に就任(のちに会長、相談役となる)。経団連顧問、国際基督教大学(ICU)理事長、日本銀行参与など多くの団体等で役職を務め、海外でも米国電気学会フェロー、工学アカデミー会員など経験多数。
1994年には日本連盟理事長に就任した。

2020年5月 就任

第9代総長
奥島 孝康 (1939-)

法学者。早稲田大学名誉教授。早稲田大学第14代総長、白鷗大学第5代学長、日本高等学校野球連盟第6代会長などを歴任。大京社外取締役、日本インターネット新聞株式会社取締役、フジ・メディア・ホールディングス監査役など、多くの企業や団体に役職を務める。愛媛県連盟宇和島第1隊、早稲田大学ローバースでスカウト活動に参加。2010年から2020年まで10年にわたり第10代日本連盟理事長を務め、白鷗大学学長在任中には同大学に大学ローバー隊(栃木・小山第6団)を設立。



創立100周年を前に、ボーイスカウト日本連盟の象徴である総長と日本におけるボーイスカウト運動の象徴である総長、そして新たな理事長を迎えて約20年ぶりに3役が揃いました。100周年を契機に新たなスタートをきり、日本中がひとつになってスカウト運動を盛り上げていきましょう。

2021年3月 就任



第12代理事長
水野 正人 (1943-)

実業家。美津濃(現ミズノ)入社後は、小売り営業部、総合企画室、取締役副社長などを経て、代表取締役社長に就任。1996年より国際オリンピック委員会(IOC)スポーツと環境委員会委員、2001年より日本オリンピック委員会(JOC)理事を歴任し、東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会副理事長・専務理事として大会招致に尽力した。

少年時代は兵庫連盟芦屋第1団でカブ隊からシニア隊まで活動。現在はボーイスカウト・アンバサダーとしても活躍している。

この度、理事長に任命され、その重責に身の引き締まる思いで「ちかい」と「おきて」を復唱しつつ、最善を尽くす所存です。兵庫県芦屋市でカブからスカウト活動に参加し、多くの仲間と野外活動で楽しく学ばせてもらいました。数年前からは日本連盟理事会のメンバーとして連盟運営に携わらせていただいています。

スカウトは「Scouting Never Stops!」の掛け声に呼応し、多くの工夫や努力で楽しくスカウト活動を進めています。昨年度は文科省から受託した「ワクワク自然体験あそび」に全国のスカウトが協力し、約1万人の子どもたちを活動に招いてスカウトの増員にも効果をあげました。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染症の蔓延で、スカウト活動は大きな打撃を受けています。日本連盟は政府の指針を基に手洗い、うがい、マスクを着用して3つの密を避けるスカウト活動の感染予防ガイドラインを出していますので、参考にして安全なスカウト活動を継続してください。

今年は創立100周年に向けて、長中期計画に基づき、ここ数年の間に実行してきた組織改革と財政再建という大きな課題について確実な成果を上げる大切な年です。野外訓練活動を主とするスカウト運動は多くの課題を抱えていますが、日本の全スカウトが一丸となり、風通しの良い協力体制で解決していきましょう。皆様方のご協力を心からお願い申し上げます。

三指

2021(令和3)年度 全国大会

テーマ: **Creating a Better World (より良い世界を創ろう)**
～活動的で自立した青少年を育てよう!!～

17回目の開催となる全国大会。今年も全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた研修や情報交換の場として開催いたします。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインでの開催になりましたが、今年度は静岡県連盟の協力を得て、感染予防対策を講じた会場集合形式での開催を予定します。



■ 日程 / **5月29日(土)～30日(日)**

■ 場所 / **静岡・熱海市**

世界救世教 救世会館 〒413-0006 静岡県熱海市桃山町26-1
世界救世教 瑞雲会館 〒413-0006 静岡県熱海市桃山町27-1
MOA 美術館 〒413-0006 静岡県熱海市桃山町26-2



世界救世教 救世会館



MOA 美術館

■ 主催 / 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

■ 開催県連盟 / 日本ボーイスカウト静岡県連盟

■ 後援 / 静岡県、静岡県教育委員会、熱海市、熱海市教育委員会、熱海市観光協会

■ 参加費 / ¥3,000- (資料、記念品代およびMOA美術館入館料[2日分]を含む)

■ 関連諸会議等の開催について

【実施】

- ・宗教関係者の会
- ・スカウトロータリー年次総会
- ・スカウトライオンズ年次総会

【中止】

- ・スカウティングエキスポ
- ・交歓会

※ 全国ローバースカウト会議総会はオンラインで開催予定です。

■ 参加申し込み

日本連盟ホームページから申込書をダウンロードし、県連盟を通じてお申し込みください。

個人から県連盟への申込締切

5月6日(木)

県連盟から日本連盟への申込締切

5月13日(木)

■ 全国スカウト教育会議(テーマ集会)

5月30日(日) 9:00～11:30

- (1) 団支援・組織拡充委員会
- (2) プログラム委員会
- (3) 指導者養成委員会
- (4) 社会連携・広報委員会
- (5) 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会
- (6) 中途退団抑止特別委員会
- (7) ジェンダー共同参画特別委員会
- (8) 事務局 DX 推進室

※ それぞれの内容は、日本連盟ホームページをご確認ください。

掲載内容は、4月10日時点のものです。新型コロナウイルスの状況等により、計画が変更になる場合があります。

最新情報は、日本連盟ホームページ等で随時お知らせしますので、ご確認ください。



<https://www.scout.or.jp/member/2021zt/>

MOA 美術館



MOA 美術館は、熱海の人気観光スポットとして知られ、「海に見える美術館」と呼ばれています。

1982(昭和57)年に岡田茂吉の意志を継いで創設され、3点の国宝や重要文化財66点、重要美術品46点を含む約3,500点を所蔵しています。

特に、尾形光琳筆「紅白梅図屏風」(国宝)、野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」(国宝)、手鑑「翰墨城」(国宝)、「樹下美人図」(中国・重文)、伝本阿弥光悦作「樵夫詩絵硯箱」(重文)のように、各分野の美術史を語るうえで欠くことのできない作品が多い点が特色です。

2017(平成29)年には館内がリニューアルされ、エントランスの天井に映し出される日本最大のマッピングされた万華鏡など、より現代的なデザインに生まれ変わりました。また、メインロビーからは相模湾に浮かぶ初島や伊豆大島が一望でき、遠くは房総半島、三浦半島、伊豆半島までの眺望をもつ一大パノラマが楽しめます。

この機会に、素晴らしい美術との出会いや絶景をお楽しみください。

MOA 美術館 <http://www.moaart.or.jp/>



2019年度・2020年度合同

富士スカウト顕彰

例年実施してきた「富士スカウト代表表敬」事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、新たにオンライン型行事として「富士スカウト顕彰」を実施しました（対象は、2019年1月～12月の富士スカウト章受章者29県連盟142人、2020年1月～12月の富士スカウト章受章者22県連盟99人の計33県連盟241人）。

富士スカウトがオンラインで集い繋がることで、コロナ禍の閉塞感を打破し、互いに今なすべきことをしっかりと心に留めるとともに、「Scouting Never Stops!」の合言葉のもと、スカウティングの歩みを止めることなく、今後もスカウティングに励むことを誓う機会にしました。

1. 秋篠宮皇嗣殿下 代表スカウトとご接見



写真提供：宮内庁

代表スカウトは緊張の中、秋篠宮皇嗣殿下のご懇談という貴重な機会をいただき、より良い世界を創るために、さらに精進していくことを誓いました。

■ 秋篠宮皇嗣殿下のご懇談

殿下が6つに分かれたグループをそれぞれ回られ、富士スカウトは自分が挑戦したプロジェクトについて一人ひとり報告し、殿下のご質問にお答えしました。

■ 秋篠宮皇嗣殿下のお声かけ

富士スカウト章取得の努力を称えて、殿下からスカウトに向け、今後も社会へ貢献するこ

とを期待する旨のお言葉をかけていただきました。

■ 代表スカウト決意の言葉（要約）

大澤礼奈ベンチャースカウト（埼玉・東松山第1団）
昨年のはじめ、未曾有のウイルス感染症によって私たちの日常は一変し、スカウト活動においても対面での活動を自粛しなければなりませんでしたが、

大好きな仲間とも画面越しでしか顔を合わせられない日々はとてもつらいものですが、オンラインでの活動を進め、自分たちにできることは何かを考えて行動することができた日々は、普段では得ることのできない、とても

充実した時間になりました。そして、今まで当たり前に感じていた仲間の存在や家族の支え、指導者の方々の協力を得られたことに、改めてありがたさを感じました。

2021年は、私たちが忘れてはならない「東日本大震災」の発生から10年の節目の年です。私たちスカウトに何ができるのか。それは、モットーである「そなえよつねに」の意識を広めていくことだと考えています。

いま私たちにできる方法で、社会に良い影響を与えられるよう日々行動し、後輩スカウトの模範となるよう、周囲の人々の力になれるよう、精進していきます。



写真提供：宮内庁

日 時：3月27日（土）10:45～11:55
方 法：オンライン（Zoom）
参 加 者：31県連盟45人の代表スカウト
司会進行：中野未久ローバースカウト
（東京・品川第6団／2017年度富士スカウト）

2. 富士スカウト顕彰



2019年度、2020年度に富士スカウト章を受章したスカウトのうち31県連盟166人がオンラインで集合しました。

菅義偉内閣総理大臣、萩生田光一文部科学大臣、ボーイスカウト振興国会議員連盟会長でもある逢沢一郎衆議院議員、奥島孝康ボーイスカウト日本連盟総長、宮川大輔ボーイスカウト・アンバサダー からそれぞれ激励メッセ

ージをいただき、その後はテーマのもと、グループごとに話し合いを行いました。

■ グループ シェアリング

参加者が30グループに分かれ、「25歳のわたしは、世の中に対して何ができるようになっていたいのか？」をテーマに仲間たちと話し合い、交流を深めました。



【激励のメッセージ】（左から）菅 義偉〔内閣総理大臣〕／萩生田光一〔文部科学大臣〕／逢沢一郎〔ボーイスカウト振興国会議員連盟会長〕／奥島孝康〔ボーイスカウト日本連盟総長〕／宮川大輔〔ボーイスカウト・アンバサダー〕

日 時：3月27日（土）12:00～13:00
開 催：オンライン（Zoom）
参 加 者：31県連盟166人の富士スカウト
司会進行：枝迫雄大ローバースカウト
（東京・世田谷第10団／2016年度富士スカウト）

第48回

全国ボーイスカウト写真コンテスト

入賞作品 発表!!



2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大によって例年に比べて野外活動の機会が少なかったものの、コロナ禍ならではの活動などを含め、たくさんの応募がありました。また、国内は北海道から沖縄までの全国各地から、さらにシンガポール第1団のスカウトからも作品が届きました。

少年の部 (中学生以下) 【応募総数 220 点】



『仲間と共に作ったひみつ基地』

浦添 昂 沖縄・石垣第1団 カブスカウト

📷 集会が終わった後、カブ、ビーバーの仲間と作った小屋です。兄からもらった一眼レフでさつえいしました。

🗣️ その時の情景を1枚の写真に全部表現していて、浦添さんが何を撮って見せたいかが、はっきりと画面全体に写っています。小屋の感じも、スカウトの表情も、ベストチャンスを撮っていて、お兄さんからもらった一眼レフが100%効果を出している写真です。靴が写っているのもおもしろいけれど、ない方がよいか。

Canon

今年の写真コンテストも、引き続きキヤノン株式会社に賞品をご提供いただきました。

「少年の部」「青年・成人の部」それぞれの最優秀者にお贈りいたします。今後の活動の中でも、ぜひカメラに親しみ、魅力あふれる瞬間を写真に収めましょう。



少年の部
コンパクトデジタルカメラ
PowerShot ZOOM



青年・成人の部
ミラーレスカメラ
EOS Kiss M2
EF-M15-45 IS STM レンズキット



📷 カブがおわったあと、友だちと遊んでいた写真です。みんなと遊ぶのはとてもたのしいです。

🗣️ 集会が終わった後の仲間のリラックスしている雰囲気をよく写し出しています。画面全体に枯葉が散っていてよいのですが、ちょっとしゃがんで下から仰ぐような感じで撮る(カメラ視線をいろいろ変えてみる)と、より活動的な印象に写ります。



『かれはのシャワー』

鈴木 護徒
愛知・名古屋第13団 カブスカウト



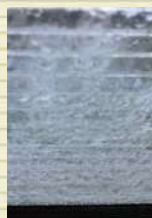
『オンライン隊集会』

太田 笑子
神奈川・横浜第79団 カブスカウト



📷 ズームでの活動中に写真を撮ることが、今ならでは面白くも思い、やってみました。

🗣️ ZOOMを使った、まさに2020年の活動。これを「今年の1枚」としてとらえるあたり、撮影者はいい感性をもっていると思います。このような活動はこれまででは考えられなかったことで、そんな時代性を1枚に写しこんだ撮影者は素敵なアイデアマンです。仲間の顔を見ると、その時の思い出が浮かんでくると思います。



『家の中の氷』

入選
平野 杜尚
北海道・帯広第7団
カブスカウト



『No-title』

入選
内海 七那
宮城・石巻第2団
カブスカウト



『完成!! ツリーハウス』

入選
斉藤 樹輝
東京・八王子第12団
ボーイスカウト



『梅の花とぼうし』

入選
犬塚 晃太
東京・稲城第1団
カブスカウト



『隊旗お片付け中!』

入選
望月 叶多
東京・目黒第15団
カブスカウト



『コロナに負けずに笑顔でチーズ!』

入選
坂本 春乃
神奈川・横浜第79団
カブスカウト



『ボーイになったら作りたい』

入選
石川 昭裕
静岡・掛川第2団
カブスカウト

青年・成人の部（高校生以上）【応募総数 186 点】



📷 たくさんのゴミを拾って帰ってくるその「ドヤ感」には、後輩たちに向けて獲物を持ち帰る、頼れる存在感がありました。

🗣️ ゴミをいっぱい持って帰っている情景そのものは地味だが、タイトルがドラマティックですばらしい。ボランティア活動を盛り上げる写真です。



『兄貴、狩りから帰る』

丹生 克生 和歌山・橋本第2団 カブ隊長



『スプラァーッーッシュ!』

北見 鮎子 神奈川・川崎第38団 カブ隊副長

📷 手作り水鉄砲で、いちばん高く飛ばせるのは誰かなー!?

🗣️ しぶきがよく写し出されるようなカメラ位置で撮っています。背景が森林で暗いところに、空中に飛んで陽にあたった水が浮かび上がっており、より強く水鉄砲の雰囲気が出ています。撮るときから狙いどおりに表現されていて、撮影者のうまさがこの1枚に出ています。



『星下の営火』

北川 勝久 富山・南砺第3団 ベンチャー隊長

📷 天の川のみえる営火場での営火は最高でした。

🗣️ 暮れる前の夕景の雲と星、営火の明るさとのバランスが合うような時間を狙って撮っていて、画面にドラマを写しこんでいる、そういううまさがあります。これより遅い時刻だと空が暗くなってしまい、営火だけが目立ってしまいます。適度に暗くて、適度に明るい情景は、営火の楽しさを映し出しており、風景としてダイナミックな撮り方をしています。



『登れたよー』

市川 みどり
埼玉・入間第2団
ビーバー隊長



『得意なもの』

小室 馨一
埼玉・鴻巣第2団
団委員長



『くまスカウトに教わって』

佐藤 なつみ
千葉・千葉第6団
カブ隊デンリーダー



『木もれびの中で』

姫嶋 真基子
山梨・甲府第6団
保護者



『落ち葉を集めて、何ができるのかな!』

苦瓜 一夫
兵庫・姫路第6団
団委員長



『初めての米とぎ』

富澤 昇太
兵庫・西宮第21団
ローバースカウト



『生涯の友!』

吉富 彩音
大阪・富田林第2団
ベンチャースカウト

📷 : 撮影者のコメント

🗣️ : 審査委員長のコメント

※ 撮影者の所属等は応募時(2021年2月時点)のもので、
※ タイトル、撮影者コメントは応募時の表記をもとに掲載しています。
※ プライバシー保護のため、一部を加工しています。

総評 / 優秀作に選ばれなかった写真は説明的な要素が強く、写真からにじみ出てくるドラマが少ない。説明的にはよく写っているが、全体の雰囲気は弱い。その違いが審査のポイントになってくると思います。

『生涯の友!』も雰囲気はよくおもしろいが、全体のドラマとなると弱い。上の

人物がもう少し明るい、下のシルエットが活きてくるでしょう。

『登れたよー』も表情はよいが、スカウトと木のつながりが弱い。木登りの雰囲気がもう少し出てくるとよいですね。

今回の応募作品はどれも、現在の厳しい状況の中でコロナを避けながら知恵をしぼって活動された賜物だと思います。



審査委員長
田沼 武能氏
(1929 -)

たぬまだけよし / 東京写真工専卒業後、木村伊兵衛氏のもとで修業、その後フリーに。高度成長期以前の東京下町の暮らしなどを撮影する。活躍の舞台を世界にひろげ、各国の子どもの写真を撮り続けている。1995年より2015年まで日本写真家協会会長。多くの賞を受賞し、紫綬褒章、文化勲章(写真家初)を受章した。少年時代、現在の台東第1団(東京第2隊)の前身である大谷健児団でボーイスカウト活動に参加。

企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ

カブスカウト対象

“新チャレンジ章”

2021年度の申し込みを開始し、月ごとの申し込み分について結果通知をお送りしています。今号では、2021年より新たに加わるチャレンジについてご紹介します。



大阪・高槻第12団

新しく仲間入り!



サイバーセキュリティヒーロー

仮想（デジタル）と現実（リアル）が混ざり合う、現代の子どもたちが主役になる社会がやってきます。インターネットには、楽しさや便利さもあれば、危険や守らなければならないことがあるということを理解することが重要です。

世界中の子どもたちに「ネットリテラシー」を学ぶためのプログラムを提供するパロアルトネットワークス社とともに、これからの社会を生きるために必要なことを体験しましょう。

第3期申し込みスケジュール

- バッジ申込 4月19日（月）～5月16日（日）
- 申込結果通知 5月17日（月）～5月20日（木）までに通知
- バッジの送付 5月下旬から申し込み団へ順次発送

※ 月ごとに申し込みを締め切り、結果を通知しています。
詳しくは Web ページをご覧ください。



インターネットを活用したプログラムに取り組んでみよう

JOTI (ジャンボリー・オン・ジ・インターネット)

世界スカウト機構 (WOSM) が主催して行われるイベントで、世界中のスカウトが互いにインタビューやクイズをしたり、YouTube のライブイベントを視聴したりと、インターネットを活用した活動に取り組みます。海外に限らず、国内のスカウト同士の交流にも挑戦してみましょう。

オンラインコンテンツ

日本連盟 Web ページでは、世界各国の活動や、国内で行える国際関連の取り組み「オンラインで世界を探検しよう」、「全国防災キャラバンオンライン」など、オンライン上で展開するプログラムを紹介しています。ぜひ、さまざまな活動の中で取り組んでみましょう。

インターネットを楽しく活用しよう

1. SNSトラブル防止標語の「とりのからあげ」について、隊のみんなで調べ読み上げてみよう。
2. 公共のWi-Fiでインターネットを使うときは、「セーフブラウジング」を使おう。
3. 自分の誕生日や住所と同じように、設定した「パスワード」は大切に扱おう。



全国防災キャラバン オンラインコンテンツの動画より



今後の新たな情報やプログラムの申し込みは、下記 Web ページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/challenge-badge/>

信仰奨励

まるいワクチン

信仰奨励委員会 森定 信吉

ジャンボリーに派遣隊長として参加したときのことで。朝食時にサイトへ朝日がにわかにか差し込んできました。お日様の温もりを体を感じ「ありがたいなあ」という気持ちがふと湧いてきました。

食事中なのでやや躊躇しましたが、「今日もお日様が上がってきたぞ、みんなで手を合わそう!」とスカウトに声をかけましたら、食事を中断して素直に起立してくれました。皆でお日様に合掌して、日々の光のお照らしへの感謝と、私たちが今日一日ジャンボリーを楽しく無事に過ごせるようにとお祈りしました。

古くから太陽は神聖で大切なものとして崇められてきました。もし太陽がなかったら、世界は暗黒の闇です。私たちは毎日変わらないお照らしのおかげで日々生かされているのですが、そのお礼は普段なかなかできていません。

とっさに思いついた「いきなりスカウト・サービス」でしたが、40人のスカウトと共にお日様へ感謝の祈りを捧げることができたことは、ありがたくて貴重な体験でした。

一日が終わるとき、西に沈むオレンジ色の大きな夕日を眺めていると、私たちの心も、あのお日様のようになんか暖かくて、まんまるなのがいいなと思います。

「まる」は、自然で無理のない形のように思えますし、もし一年をととして「まるい心」が持続できたら、毎日が素敵で幸せになるに違いありません。

特に現在のように困難が多くある状況では、周りの人や自然とまるく収まり、敵を作らず仲良くする生き方がより大切なことのように思えます。

さらに、毎日嬉しく楽しく、幸せを感じて生活していると、体の免疫力もアップするそうです。しかも、これには副作用などはなく、すでに人の心に神様が無料で配布してくださっています。

スカウターとして、世界が抱える困難を乗り越えることができるよう、率先して「まるい心」を日々心がけ、家庭や社会、そして自然とも仲良くできる稽古に励んでいきたいと思っています。



ボーイスカウト PRムービーコンテスト2021



募集期間：7月1日(木)～10月31日(日)

テーマ：5月中に日本連盟ホームページにて発表!!

【コンテスト詳細】

■ スケジュール

募集期間：7月1日(木)～10月31日(日)
選考期間：11月中
結果発表：2022年1月上旬(予定)
※ 審査結果は本誌2022年1月号および日本連盟 HP にて発表する予定です。

■ 応募資格

本コンテストへの応募資格は、以下のとおりとします。

- ボーイスカウト運動の目的に賛同する者(加盟員である必要はありません)。
- 本コンテストの要項に同意している者。
- Youtube への動画投稿が可能なアカウントを所有している者(本コンテストのために新規獲得したアカウントでも可)。

※ 応募者が未成年の場合、保護者または指導者の同意が必要です。必ず事前に同意を得たうえで応募ください。

■ 作品の条件

- ① ボーイスカウトの PR になる内容であること
- ② 10秒以上90秒以内であること
- ③ 他者の著作権、肖像権等を侵害していないこと
- ④ 未発表の作品であること

■ 賞品

最優秀および優秀に選ばれた作品の応募者には、協賛企業よりご提供いただく賞品等をお贈りいたします。

■ 過去の優秀作品

日本連盟 Youtube で公開しています。

簡単に撮影や編集ができる時代です。ぜひスカウト活動の楽しさを動画に収めて応募ください。詳細は、日本連盟ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/prmc2021/>



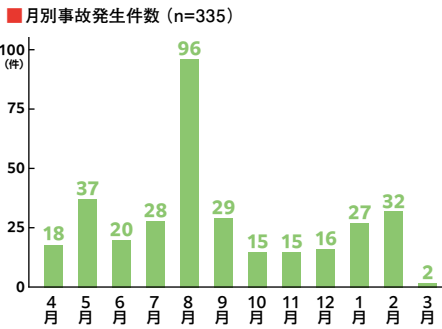
■ 野外活動のための安心・安全講座

2019 (令和元) 年度

そなえよつねに共済 事故データ分析

「そなえよつねに共済」で取り扱った事故データ分析の結果をまとめましたので報告いたします。2012年度から全加盟員が保険（2014年度からは共済）対象となり、ボーイスカウト全体における事故の傾向が把握できるようになりました。事故発生件数（報告件数）は前年度と同様の335件で、傷病の延べ数は495件でした。いくつか気づいた点をコメントしましたので、安全管理の参考にいただければ幸いです。

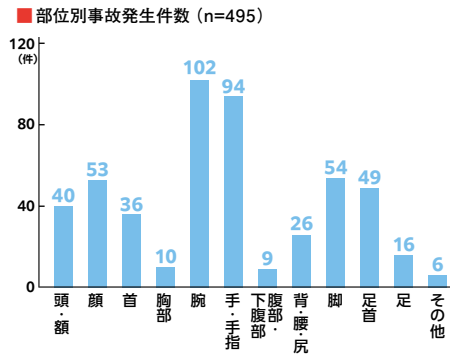
発生月別



8月に事故事例が多い傾向は例年と同様で、全事故件数の約28.7%を占めています。8月の事故を分析すると、前年度(2018年度: 63件)より33件増加の96件で、そのうち88件が夏季活動(野営や倉営)中に発生しています。薪割り中の切り傷や火起こし中のやけどなどがみられますが、ハチやブユ、ダニによる虫刺され等も数多く報告されています。服装に注意を払うことや、害虫対策を行うことが必要です。

3月の事故発生件数が極端に低くなっていますが、これは新型コロナウイルスによる活動数の低下によるものだと思います。

部位別 (延べ数)

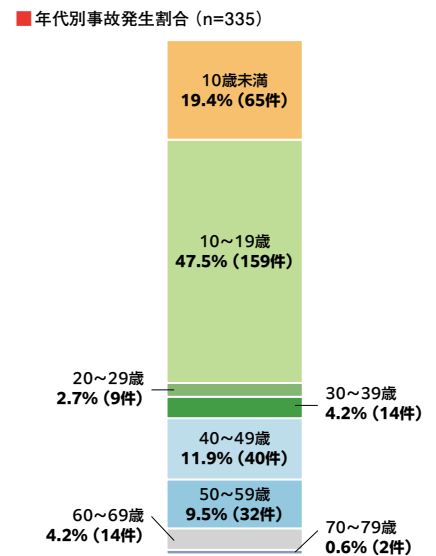


昨年からの傾向ですが、頭や顔に対する受傷数が減少しています。一方、腕や手、手指に対する受傷数が前年度(161件)より35件増加の196件となっています。腕はスキー、スノーボード、スケートなどの冬季活動中の受傷が多くなっており、内容としては骨折などがあげられます。

また手や手指において気になることは、左手指の受傷数が右手指の3倍にのぼることです。内容を見ると、薪割り中や調理中の受傷が多くなっています。これは右利きの人が多いこと由来すると思われます。薪割りや調理の際の注意事項を今一度確認し、十分にスカウトを指導してください。

年代別

年代別では、19歳までの割合が約70%にあたる224人でした。20代9人、30代14人と少数ですが、40代40人、50代32人、60代14人となっており、70代でも2人の事故報告がありました。

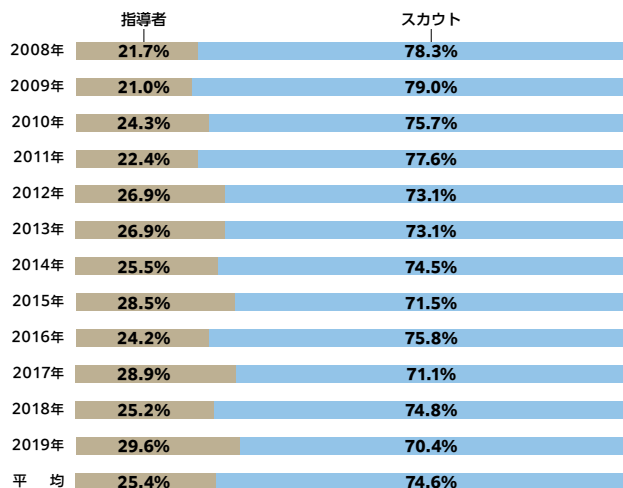


部門別

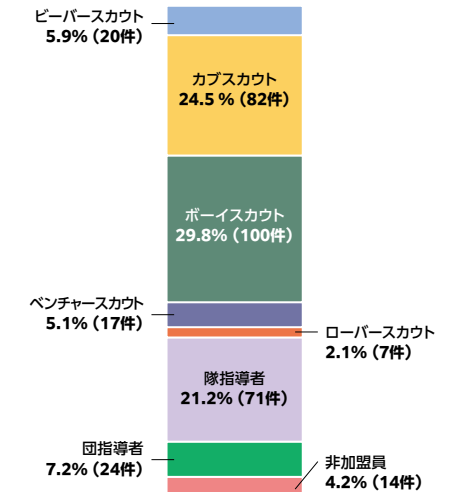
部門別の傾向は、ビーバースカウトが0.7%減少、カブスカウトが1.5%減少、ボーイスカウトが1.5%減少、ベンチャースカウトが4.1%減少、ローバースカウトが0.9%増加しました。

全事故に占める割合(非加盟員を除く)は、スカウト全体で70.4%と、前年度より4.4%減少しました。一方、指導者の割合は29.6%と、前年度より増加しています。

■ 指導者/スカウトの事故発生割合の変化 (n=全体数335-非加盟員14)



■ 部門別事故発生割合 (n=335)



部門別 上位3傷病

部門	1位	2位	3位
ビーバースカウト	打撲(6件)	裂けた傷/骨折/脱臼・捻挫・靭帯損傷(各3件)	刺し傷/やけど(各2件)
カブスカウト	骨折(23件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷(15件)	裂けた傷/切り傷/打撲(各12件)
ボーイスカウト	切り傷/骨折(各20件)	やけど(10件)	裂けた傷/打撲(各7件)
ベンチャースカウト	骨折(8件)	切り傷(6件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷/打撲/やけど(各2件)
ローバースカウト	打撲(3件)	骨折(2件)	切り傷/脱臼・捻挫・靭帯損傷(各1件)
指導者	骨折(42件)	打撲(25件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷(21件)

活動内容

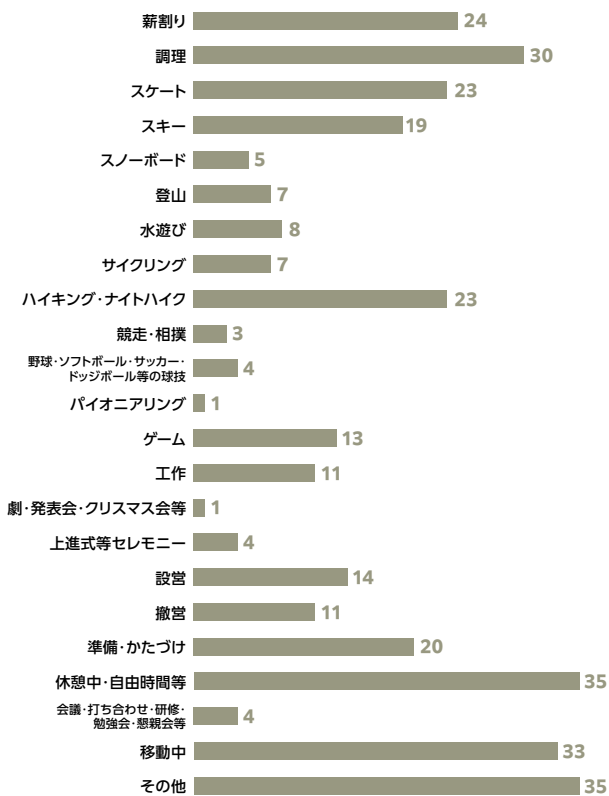
ビーバースカウト部門での事故1位は「移動中」で7件、2位は「休憩中・自由時間等」で4件でした。移動中は帰宅前後の時間などに発生しています。全発生件数が20件のビーバースカウト部門において、半数以上は活動外（プログラム以外の時間）で発生しています。活動前後や休憩時間も十分な安全対策を講じることが必要です。

カブスカウト部門での事故1位は「休憩中・自由時間等」で12件、2位は「スケート」で10件でした。ビーバースカウト部門と同様に、活動外の時間での発生もみられますが、多くの発生が活動中になります。

ボーイスカウト部門での事故1位は「薪割り」で15件、2位は「休憩中・自由時間等」で14件でした。薪割りでの件数は昨年度よりも増加しています。保護具の着用などの教育はもちろんですが、なぜ着用する必要があるのかなどの理由を明確にして指導することも必要です。

ベンチャースカウト部門での事故1位は「スノーボード」「移動中」でそれぞれ3件でした。ローバースカウト部門での事故1位は「スキー」「移動中」でそれぞれ2件。指導者の事故1位は「準備・かたづけ」で10件、2位は「スキー」「ハイキング・ナイトハイク」でそれぞれ9件でした。

■ 活動内容と事故発生件数 (n=335)



■ 部門別 最も事故が多かった活動内容

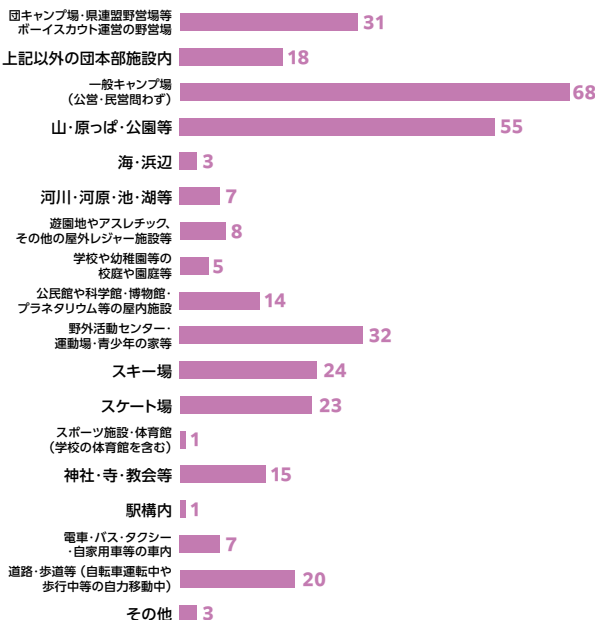
	プログラム
ビーバースカウト	移動中 (7件)
カブスカウト	休憩中・自由時間等 (12件)
ボーイスカウト	薪割り (15件)
ベンチャースカウト	スノーボード/移動中 (各3件)
ローバースカウト	スキー/移動中 (各2件)
指導者	準備・かたづけ (10件)

発生場所

事故の発生場所として最も多かったのは「一般キャンプ場」でした。ついで「山・原っぱ・公園等」です。前年度と傾向は変わりません。野外での活動が増えることで、事故発生の可能性が高くなるということを今一度理解する必要があります。

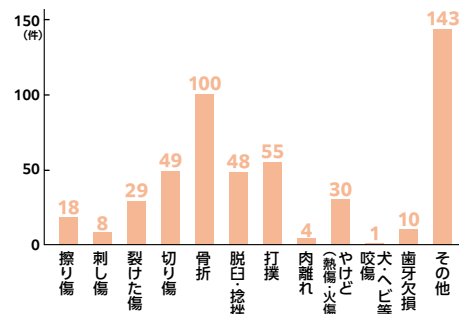
また、移動中の事故発生も多くなっていることがわかります。交通事故など命に関わるものも発生していますので、十分注意することが必要です。

■ 発生場所と件数 (n=335)



傷病別 (延べ数)

■ 傷病別事故発生件数と事故割合 (n=495)



傷病別では、「骨折」の割合が最も多く、前年度（94件）より6件増加の100件で第1位でした。第2位は「打撲」で、前年度（45件）から10件増加の55件でした。第3位の「切り傷」は前年度（68件）から19件減少の49件でした。これら3傷病で全傷病の41.2%を占めています。

「骨折」は、うち32件が指導者によるものでした。スカウトの骨折の場合、入院は長くとも10日程度でしたが、指導者の場合は1か月以上入院するケースもみられます。「骨折」は、スカウト活動のみならず、日常生活にも大きな影響を及ぼしますので、十分注意しましょう。

また、「その他」の中で気になったのが、ハチやブユ、ダニによる虫刺されです。前年度に比べても増加しています。服装や害虫対策などに十分に配慮してください。

まとめ

共済事業に移行して6年。全体的な傾向は大きく変わりませんが、いくつか気になった点があります。各項目について、過去の本誌で参考になるものを示しますので、こちらもあわせてご覧ください。

ひとつは、虫刺されによる受傷が増加傾向にあることです。蚊やダニなどは、節足動物媒介感染症（蚊やダニなどから伝播される寄生虫、ウイルス、細菌などによって人に起こる疾患のこと）を引き起こす可能性があります。活動時に「長袖を着る」「虫除けスプレーなどの防虫剤を塗る」「蚊取り線香等を焚く」などして、虫刺され受傷の低減に努めてください。[参考：本誌2016年7月号「地球温暖化と安全」]

次に、休憩中の事故発生の再度防止徹底のお願いです。ビーバースカウトやカブスカウトにとって、休憩時間は自由時間です。休憩時間中の活動範囲をあらかじめ明確に指定する、指導者や保護者の協力を得て、休憩時間中も安全管理を十分に行うなどして事故の防止に努めてください。[参考：本誌2014年9月号「休憩・自由時間中の事故」]

最後に、指導者の事故発生件数の増加です。件数、割合ともに増加傾向が続いています。指導者の受傷は重症化しやすく、完治までの期間も長くなります。安全対策を十分に行い、無理をせず、他の指導者や保護者、関係者と協力をしながらスカウト活動を行っていただければと思います。[参考：本誌2011年9月号「減少しない指導者の事故」、2011年11月号「指導者自身の安全の確保を」]

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

スカウティングとSDGs

— 一緒に行動しよう！ 持続可能な社会のために —

持続可能な開発目標（SDGs）は、「leave no one behind（地球上の誰一人として取り残さないこと）」を目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき17の目標と具体的な取り組みである169のターゲットによって構成されています。

今号からは、個別の目標に関する事例や他団体の取り組みだけでなく、新しい環境教育プログラム「Earth Tribe（アース・トライブ）」に関連する日本連盟の事業や取り組みを紹介します。行動するための糸口として見ていきましょう。

地域の課題から考えよう

ゴミ拾いや地域の美化活動

スカウトによる環境への取り組み

全国で40年以上続く社会貢献活動「スカウトの日」。近年は一般児童への自然体験活動や国際貢献、災害復興支援など活動の幅を拡げて実施しています。

これまでの経緯も含め、9割以上の団が活動エリア周辺の美化活動や清掃活動に継続して取り組んでいます。



徳島・鳴門第9団

課題や取り組みの変化

最近では、たばこの吸い殻やビニール袋などのゴミが年々少なくなっているとの報告もあり、路上喫煙の禁止やレジ袋の有料化などといった社会の変化を見てとることができます。

また、生活地域のほか、山林や河川での美化活動やスカウトへの環境レクチャーを、NPO 団体と協力して展開する団も増えています。

活動の発展

これらの取り組みを継続することで「活動場所までの往復や学校の帰り道にゴミ拾いを実施した」「ベンチャースカウトが自らの取り組みや学びを、ゲームを交えて他部門のスカウトに伝えて団活動の実施に繋がった」といった展開例も届いています。



神奈川・横浜第116団

3つのステップで取り組もう

環境教育プログラム「Earth Tribe」は、それぞれの問題や取り組みについて、スカウトが「知る」ことから始まり、周りの人と「協力」して自分たちにできることを「実行」するまでをひとつの挑戦として3つのステップを設けています。

前述の「地域の課題」をテーマに、それぞれ下記のステップに取り組んでみましょう（BVS、CSはどれか1つ、BSはそれぞれ2つ、VS以上はすべてに挑戦してみましょう）。



兵庫・西宮第3団

環境について「知る」

- ① 地域の清掃活動や美化活動に参加して、地域のために自分にできることを考える。
- ② 私たちの生活が便利になることと、それ伴う環境に与える影響について考える。
- ③ 私たちが健康的に生きるとともに、持続可能な環境に近づけるにはどんな選択が必要かを考える。

地域社会と「協力する」

- ① 自分の地域や自然を大切にするために、自分が行うことを友達や家族の人に約束する。
- ② 環境先進地域である北欧の取り組みについて調べて、団や隊の中で発表する。
- ③ 環境への負荷軽減に貢献するアイデアを考え、協力してもらえる団の人や地域の団体を探す。

自分たちで「実行する」

3つのステップのうち、最後の「実行する」のステップでは、どのようなことができるでしょうか。取り組みのタイミングとしては、9月の「スカウトの日」のほか、世界のさまざまな課題について考える「国際デー（本誌P19参照）」などがあります。

各年代において取り組む内容やその難しさは異なります。それぞれ、自分たちにできることから始めてみましょう！



わたしたちの地球を守ろう ~Earth Tribe

<https://www.scout.or.jp/member/earthtribe/>

全国防災キャラバン

2021年は、全国80会場以上で開催予定!



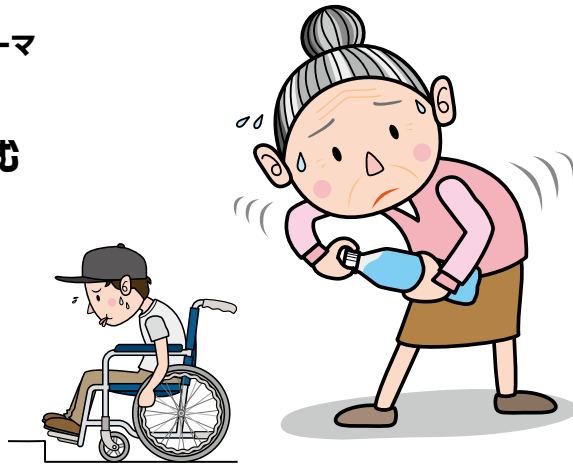
地域の子どもとその家族を対象に、2016年から継続して開催している「全国防災キャラバン」。毎回、会場ごとに防災について楽しく学ぶことができるさまざまなプログラムが行われ、地域の防災力向上に貢献しています。

2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインのみでの展開になりましたが、2021年は全国のイオンモール等を会場に実施します。

■ 2021年からの新しいテーマ

お互いに思いやる、 助け合いのキモチを育む 「思いやり防災」

高齢者や障がいがある方など、地域には多様な人がいることを知り、災害が起きたときにお互いが助け合うことを親子で考える機会として、ハンディキャップ体験プログラムなどを新しく導入します。



■ キックオフイベントを実施（報告）

日時：3月28日（日）10：00～16：00
場所：福島・イオンモールいわき小名浜

東日本大震災から10年の節目である今年は、「3つの密を避け、消毒を行う」などの感染症対策をしっかりと行いながら福島県でキックオフイベントを開催し、開催地の福島連盟と地元行政によってさまざまな防災体験プログラムを実施しました。

キックオフセレモニーでは、いわき市の新妻英正副市長にご協力いただきながら災害時のハンディキャッププログラムを実演し、福島連盟のスカウトによる「防災宣言」なども行いました。

■ オンラインで楽しめる 防災コンテンツもたくさん!

2020年は、イオンモール等の会場で開催できなかった代わりに、「全国防災キャラバン on the WEB」の特設ページで、防災クイズや危険予知などのプログラム、防災動画などを公開しました。

ぜひ、スカウトの防災教育プログラムとして、また、一般の子どもたちを招いた体験会の機会などにもご活用ください。



<https://www.bousai-scout.com/>



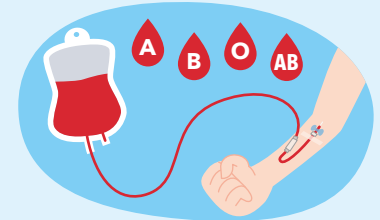
全国の開催予定などは、日本連盟ホームページで順次更新していますのでご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/bosai-caravan-2021/>

国際デー ～世界と共に考えよう～

世界献血者デー

6月14日
World Blood Donor Day



世界的な「公衆衛生に関する日」として、5月の世界禁煙デーや12月の世界エイズデーなどとならぶ、世界保健機関（WHO）が推進する取り組みのひとつです。

2004年に始まったこの行事は、安全な血液や血液製剤の需要に関する認識を高め、自発的に血液を提供する献血者に感謝することを目的としています。

献血は、人々の命を救う大切な活動です。血液は人工的に作る事ができないものなので、善意の献血に頼るしかありません。現在は、昨年（2020年）から続くコロナ禍ということもあり、例年以上に血液が不足しています。

献血は「いのちを救う贈り物」といわれます。自身が献血に協力するほか、献血する人に感謝するとともに、血液製剤を必要とする人々にとって献血がいかに重要かという認識を広めるために、家族や周りの人と献血について話さきっかけにしてみましょう。

今号より、新たに「国際デー ～世界と共に考えよう～」を掲載します。

国際デーとは、国際機関によって定められた記念日のことで、特定の事項（特に重点的な問題の解決）に対して、全世界の団体や個人に呼びかけるための日とされています。

世界の課題に気づき、それらに対してスカウト自らが行動するために、まずは「知る」ことから始めましょう。



<https://www.scout.or.jp/member/international-days/>

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

千葉 □ オンラインで B-P 祭を実施

船橋第14団 団委員長 持木 達夫

当団では、毎年、ベンチャースカウトの企画、運営のもとで B-P 祭を実施しています。

今年はコロナ禍のなか、1月初めからベンチャースカウトが Zoom 会議で計画を進めましたが、自粛延長になり、Zoom での開催に切り替えました。週2回、延べ10回の会議を行い、「ビーバースカウトも我慢できる1時間程度、クイズ形式で B-P を知ってもらおう」という内容に決定。4択クイズで、カメラに赤、黄、緑、青をかざして回答してもらいました。この方法は、ビーバーでも理解できてよかったと思います。

また、アメリカ・サンフランシスコ郊外に住むロイとセイヤ親子にスペシャルゲストとして参加してもらいました。インドネシア人でスカウト経験者のロイは指導者および各種スカウト委員を務め、息子のセイヤはイーグルスカウトで、現在は副長補をしています。ロイの奥さんが日本人で、2人とも日本語が話せるため、英語と日本語でコロナ禍での生活からス



カウティングまで幅広く話し、クイズを行いました。

Zoom を使用して初めての団全体集会でしたが、ベンチャースカウト企画員全員による打ち合わせ、アメリカとの打ち合わせ、事前練習によって、グローバルで有意義な集会が実現できました。今回の経験が、今後の活動にも活かされることを期待します。

大阪 □ オンラインカブラー「きたおおさかの中からイッテ Cub」

きたおおさか地区 地区委員長 松川 稔

コロナ禍のなか、オンラインを活用した新しい行事を目指して当地区のカブラーを実施。それぞれ公民館等に来る地区内の全カブ隊をオンラインでつなぐという初の試みでした。

感染対策はもちろん、通信環境の確認などリハーサルを重ねて迎えた本番。午前中は、各隊が最寄りの公園で全隊共通のプログラムに取り組み、午後は合同のオンライン活動として、手話やソングなどのプログラムに参加

し、組集会の成果を存分に発揮していました。

この一年、多くの学校で校外学習や運動会などの「行くことによって学ぶ」行事が縮小あるいは中止になりました。

「コロナ禍だからこそ、ボーイスカウトの学びが大切ではないか」

カブラー最優秀組に選ばれたスカウトたちが画面の向こうで大喜びしている姿が、指導者をそのような想いにさせてくれました。

Scouting Never Stops!

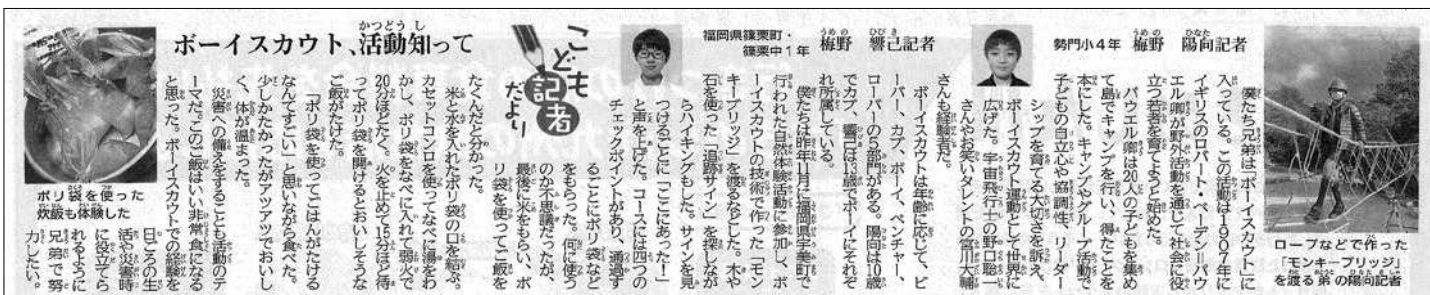


福岡 □ こども記者としてスカウト活動を紹介

粕屋第10団 団委員長 井手 直秀

当団に所属するスカウト(兄弟)が、昨年11月に実施した文部科学省委託事業「ワクワク自然体験あそび」の様子をこども記者として記事にしたものが、地元の西日本新聞に掲載されました。

スカウト運動から自然体験あそびで実施した内容の紹介、災害時の役立つ情報までが上手にまとめられています。



西日本新聞 (2021.1.26)

新刊書籍紹介

販売中



『安全ハンドブック』
品番: 65289
サイズ: A5判/本体176頁
価格: 880円(税込)

『安全入門』の後継図書。各隊の隊指導者が「活動の計画書を作成する、あるいは、スカウトが作成した計画書をチェックする際に本書を参照する」ということを基本に作られています。



『日本連盟規程集 令和3年版』
品番: 65133
サイズ: A5判/本体304頁
価格: 1,100円(税込)
販売予定: 5月上旬

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます

2021年 1~2月度

【北海道】

大橋 和子
渡邊 伸夫
佐藤 満雄
BS札幌1

【青森】

佐藤 正

【岩手】

尾形 善且
岡部 洋子
BS盛岡5
BS岩手連盟

【宮城】

東海林 良雲
(株)シグマット

【秋田】

乳井 豊彦
川尻 孝紀
中川 猛夫
吉田 一生
【茨城】
平澤 正則
若山 藤男

【栃木】

BS栃木県連盟

【群馬】

小暮 雅丈

【埼玉】

牛山 佳久
山崎 哲男
金重 一夫
須田 次義
BS蔵2
BSさいたま205
BSさいたま220
BS鴻巣3

【千葉】

織田 一雄
花田 健二
太田 匠工
中村 ちひろ
中川 和久
鈴木 町枝
BS八千代2
(株)新昭和

【神奈川】

斉藤 彰
福田 功
金子 守邦
鬼頭 宏
BS横浜31

【山梨】

石橋 隆秀
鍋谷 正俊
中村 忍

【東京】

平林 淳志
阪下 朝一
豊原 喜一
山下 孝士
渋谷 達雄
古谷 真一郎
諸越 邦男
藤田 修
入江 生夫
望月 洋一
浅野 正
浅野 麻利子
井上 正行
圓城 知道

【石川】

吉田 義明
木戸浦 信隆
山本 敏成
飯田 一郎
東本 晃一
林 矩了子
手井 博史

【福井】

高芝 和彦

【長野】

平出 政一
武田 清孝
富士コムテック(株)

【岐阜】

北條 昌彦
大野 雅晟
田中 忠彦
渡辺 芳弘
加藤 芳克
(株)シワ高田勝実

BS台東3

BS葛飾9
BS墨田4
BS江東3
BS小金井1
BS調布10
BS小平5育成会
BSあすなろ地区
東洋大学ローパー
スカウト部08-06会
(学)正和学園
町田タイムズ社
(株)白鷹
(株)吉田商店
(株)式典コスギ

【新潟】

西澤 哲司
渡辺 誠
今井 浩二
渡辺 進
増川 隆志
小林 基
国際ロータリー
第2560地区

【新潟】

息野 捷夫
折戸 定良
木村 繁英
加納 康昭
服部 武行
澤田 清
加藤 忠雄
神谷 政明
森 彰康
白谷 康裕
水野 義久
柴田 吉彦
伊串 鐘雄
河村 武人
渡邊 誠
五藤 丈二
BS半田11
BS美浜2
BS名古屋86
BS岡崎12
BS名古屋127
BS名古屋87
BS半田5
BS安城1
BS岡崎11育成会
BS-宮10育成会
新東工業(株)

【三重】

川北 佳伸
下間 賢了
高橋 誠

伊藤配管工業(株)

【静岡】

佐野 愛子
松永 伸弥
鈴木 均
中嶋 正志
杉山 敏允
遠藤 哲史
大沼 博政
小野 光男
平野 尚司
濱田 敏彦
田中 寛
志賀 裕人
(株)エフ・シー・エス
(株)ベイレスセンター
風間重樹

【愛知】

息野 捷夫
折戸 定良
木村 繁英
加納 康昭
服部 武行
澤田 清
加藤 忠雄
神谷 政明
森 彰康
白谷 康裕
水野 義久
柴田 吉彦
伊串 鐘雄
河村 武人
渡邊 誠
五藤 丈二
BS半田11
BS美浜2
BS名古屋86
BS岡崎12
BS名古屋127
BS名古屋87
BS半田5
BS安城1
BS岡崎11育成会
BS-宮10育成会
新東工業(株)

【愛知】

息野 捷夫
折戸 定良
木村 繁英
加納 康昭
服部 武行
澤田 清
加藤 忠雄
神谷 政明
森 彰康
白谷 康裕
水野 義久
柴田 吉彦
伊串 鐘雄
河村 武人
渡邊 誠
五藤 丈二
BS半田11
BS美浜2
BS名古屋86
BS岡崎12
BS名古屋127
BS名古屋87
BS半田5
BS安城1
BS岡崎11育成会
BS-宮10育成会
新東工業(株)

【石川】

吉田 義明
木戸浦 信隆
山本 敏成
飯田 一郎
東本 晃一
林 矩了子
手井 博史

【福井】

高芝 和彦

【長野】

平出 政一
武田 清孝
富士コムテック(株)

【岐阜】

北條 昌彦
大野 雅晟
田中 忠彦
渡辺 芳弘
加藤 芳克
(株)シワ高田勝実

森 尚美

森 久司
樋口 晃嗣
山口 成治
永田 真二
小久保 晃伸
BS四日市15育成会
(株)白木技建
(株)シード

【滋賀】

崎 信治
岡村 誠子
岡本 和郎
西田 章夫
熊井 猛浩
網野 俊賢
BS京都65
(株)公益社

【兵庫】

南 秀生
中村 圭一
菅 洋一
朝倉 美穂
滝川 修介
栗波 高也
伊藤 茂
福岡 和明

【奈良】

豊田 敏雄
細川 雅基
飯岡 克美
田村 聡子
BS奈良19

【和歌山】

山本 一郎
田中 章慈
田中 英明
森下 正紀
奥野 芳晃
向井 良和
(株)いちご啓寿会
三木理研工業(株)
【大阪】
高島 忠男
宮司 寺井種治
本多 至成
高見 篤志郎
膳師 功

【鳥取】

森脇 昇
板野 元次
植中 和彦
BS都窪2

【広島】

登世岡 浩治
河内 芳則
土本 敏明
中国電力(株)
役員有志

【山口】

和田 昭宏

【徳島】

廣瀬 民義
中野 貴裕

【香川】

湖崎 武敬
宮野 義久
綾田 福雄
大西 栄生

【愛媛】

本宮 敏治

【高知】

永野 隆史

【福岡】

大津留 寿賀男
山本 慎悟
倉成 佳代子
小田 幸三
御田 良知
小田 房江
平川 正道
BS北九州51
BS北九州1
BS北九州45
BS筑紫2育成会

【佐賀】

轟 覚
江見 喜充
藤田 務
石橋 孝治
【熊本】
千蔵 忠尋
【宮崎】
池本 要
村永 盛哉
武末 雄二

鈴木 至

【鹿児島】
松林 大生
宮里 博史
宮里 啓和
嘉数 昇明

【日本】

久野 桂
奥島 孝康
竹内 康人
白井 堯子
宮崎 正夫
松本 正美

伊賀 則夫

相原 光治
幸田 学
Harvey Paul
大坪 文雄
ボーイスカウト
エンタープライズ



マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

1~2月に入会または1年継続された方々です。

【青森】

三浦 雅人
相馬 雅之

【岩手】

末永 正志

【福島】

増子 恵二

【埼玉】

内山 豊和

【千葉】

増田 秀夫
森屋 啓
白鳥 素也
田中 齊
大作 寛
杉崎 厚

【神奈川】

佐野 友保

【山梨】

藤森 静男

【東京】

村山 正
森谷 治男
福嶋 正巳
石井 琢磨
白川 雅之
肥沼 裕史
山本 慎太郎
成瀬 晃司
只野 太一

水野 重俊

清呂木 淳
谷茂岡 泰

【福井】

大刀 隆雄

【岐阜】

木村 和幸

【静岡】

川村 悦子
西山 考司

【愛知】

中尾 武志
中島 資浩
森 裕次
高見 本子

【滋賀】

嶋田 寛

【京都】

山崎 伊佐緒
津田 繁

【兵庫】

藤原 健資
武藤 伸太
中野 まり

【奈良】

城戸 琢磨
城戸 琢磨

【和歌山】

中谷 新治

【大阪】

間下 正司

横山 稔

市橋 興宜

【鳥取】

坪倉 顕示

【島根】

那須 智浩

【山口】

小橋 克哉
高村 義則

【徳島】

石本 康樹

【福岡】

永尾 真介

【宮崎】

荒武 修一

【鹿児島】

諸留 貴久
森永 高行
田原 茂

【日本】

水野 正人
清水 美保
出田 行徳
宗石 憲宏
大久保 清彦
柳田 朝美
脇本 雄吾

日本連盟理事等の交代について（お知らせ）

2021年3月9日付をもって、日本連盟理事等（一部）が交代および選任されました。

代表理事（理事長）の交代

新 水野正人 前 岡谷篤一

指導者養成委員長の交代

新 栗田哲郎 前 大久保秀人

18NSJ実行委員長の交代

新 白川雅之 前 故 山内直元

100周年記念事業実行委員長の交代

新 佐野友保 前 故 山内直元

25WSJ派遣団長・派遣実行委員長の選任

佐野友保

理事の交代

新 栗田哲郎 前 大久保秀人

理事の選任と評議員の退任

白川雅之

なお、指導者養成委員長については、昨年新たな任期を迎えた常設委員会（2年任期）の任期途中での交代になるため、新委員長の挨拶をご紹介します（常設委員会の指針は本誌2020年7月号をご参照ください）。

■ 指導者養成委員会



委員長

栗田 哲郎
(神奈川)

任期途中での委員長交代ということで、大久保前委員長の方針に基づき、2020年度より推進してきた委員会の方針（隊、指導者の皆さんがスキルアップしてスカウトたちに楽しいプログラムを提供できること）を継続いたします。

ディレクターチームと約580人のトレーナーをフル活用し、各地でコミッショナー訓練の充実や Adults in Scouting World Policy (AIS) の深い

理解を促し、「成人のライフサイクル」に沿った成人の活用、実行をいたします。

そして、実働するトレーナーの質の向上を目指すために、トレーナー制度を見直し、各県連盟ディレクターと協働して質の高いトレーニングチーム構築を目指します。また、世界の動きをいち早く察知し、日本の活動に合わせた指導者訓練の提供を常に考えて検討し実行、評価反省を繰り返してより良き指導者訓練を作り上げてまいります。

2021
No.744
7

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2021年7月1日発行

特集 100周年記念事業の取り組み

いよいよ来年に迫った日本連盟創立100周年。7月号では、記念すべき年を迎えるための計画と準備状況をご紹介します。100周年イヤーに向けて、皆さんと一緒に準備を進めていきましょう。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定／本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2021年5月号 No.743 令和3年5月1日発行（奇数月1日発行）

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

スカウティングは、全国のボーイスカウト指導者（隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員）に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合：5月号から当該月号を同封にて送付（例：8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封）②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合：11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2021 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部（代表 TEL: 03-6913-6262）までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています！



機関誌『スカウティング』のデジタル版（PDF）を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。

通常はIDとPASSを入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動への臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。自宅におけるスカウト活動などにもお役立ていただければ幸いです。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

SCOUT GEAR



mont-bell



スカウトギア™ メドープック 22

(写真左)

品番：83550 価格：¥13,200-(税込)
容量：本体 20L、トプリッド 2L
重量：605g 寸法：H60×W30×D20 背面寸法 48 cm

スカウトギア™ メドージョルダー 12

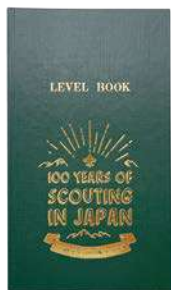
(写真右)

品番：83553 価格：¥9,350-(税込)
容量：本体 12L
重量：430g 寸法：H30×W41×D13 cm

100th Anniversary Collection & New Item



品番：73029 (左)、73030 (右)
品名：100周年ウォーターボトル
klean kanteen
価格：¥4,950-(税込)
色：ステンレス(左)、トーフ(右)



品番：73033
品名：100周年測量野帳
価格：¥250-(税込)
コクヨの測量野帳です。



品番：81045
品名：スカウトアルミ食器(新)
価格：¥1,980-(税込)
リニューアル版。サイズが変更になっています。



品番：73025 (上)
品名：100周年ヘッドライト MS-G2
価格：¥5,940-(税込)

品番：73027 (下)
品名：100周年ヘッドライト MS-A5
価格：¥3,740-(税込)
milestone とのコラボアイテムです。
発売予定：5月上旬



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



各商品の発売情報や詳細は、ホームページや各種 SNS、ONLINE SCOUT SHOP のメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。



いまこそチャンスに！

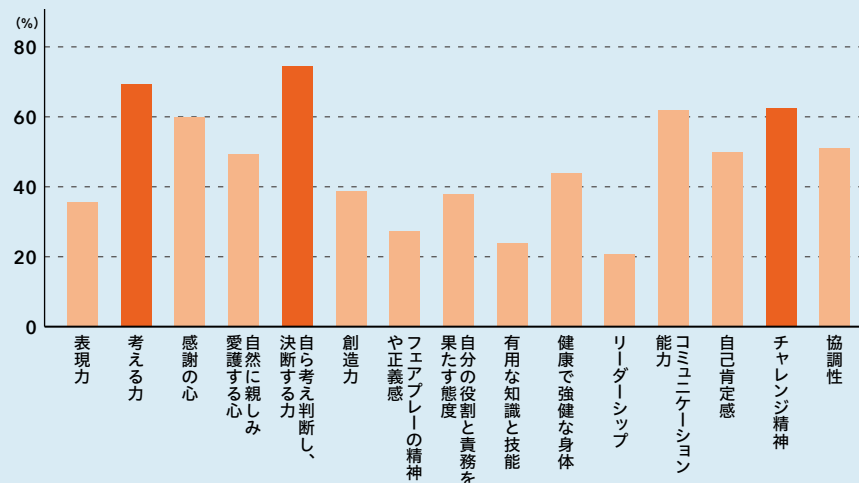
ボーイスカウトへのお問い合わせが急増しています。



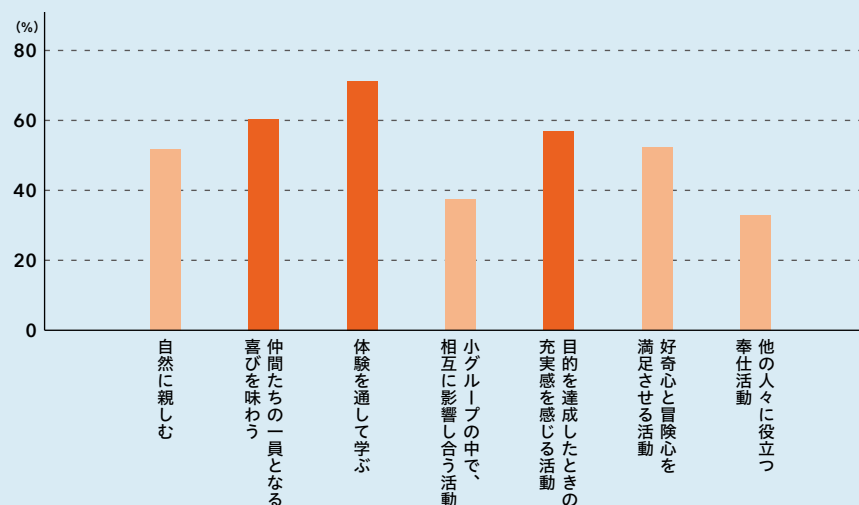
ワクワク自然体験あそび参加者に聞きました。

※回答数 10,332件（選択式回答／複数回答可）

● お子さんに身につけてほしいものはなんですか？



● どうしたら身につくと思いますか？



2020年初めから、コロナ禍で子どもたちが自由に外で遊ぶことが困難な状況が続いています。そのような状況の中、ボーイスカウトへの注目が高まり、各団への問い合わせ件数が急増しています。

「ワクワク自然体験あそび」の参加者アンケートによると、保護者が我が子に身につけてほしいと思っていることは、社会人としても求められることであり、まさにスカウトが活動を通じて身につけているもの。

いま、私たちの活動を強くアピールするチャンスです！

問い合わせが増えているこのチャンスに、ボーイスカウト運動の本質をしっかりと伝える活動をしていきましょう。